

論文・速報論文原稿の書き方

2008 年 12 月 1 日改定

(社) 日本トライボロジー学会校閲委員会

この“ 論文・速報論文原稿の書き方 ” は 2009 年 1 月 1 日以降に受け付ける原稿に対して適用します。

1．論文・速報論文の原稿と印刷版下

1.1 原稿用紙

論文・速報論文の原稿は、A4 サイズの白紙、または本会規定の版下用原稿用紙を用いて執筆した後、投稿して下さい。

1.2 印刷版下の作成

論文・速報論文の原稿は、著者が印刷版下を作成する場合と、本会が印刷版下を作成する場合とがあります。印刷版下の作成にあたっては、著者または本会のいずれが作成する場合でも、文章や図表などは原稿用紙に直接印字するか、または貼り込んで下さい。具体的な印字の大きさや割付け方法などは、「論文原稿の見本」および「トライボロジスト投稿論文用テンプレートの使い方」を参照して下さい。

最終正原稿については、本校閲委員会に掲載が決定された後に、事務局より著者に提出依頼がなされます。

なお、カラー写真の掲載をご希望の方は、投稿に先立ち学会事務局にお問い合わせ下さい。

1.2.1 著者が印刷版下を作成する場合

著者が作成した原稿をそのまま写真製版により印刷（86%に縮小）しますので、高品質で黒色の印字を用いて下さい。

1.2.2 本会が印刷版下を作成する場合

この場合も表題、著者名、論文概要（Abstract）、本文、および図表等を学会誌に印刷されるものと同様に割り付けた原稿をご提出下さい。最終正原稿提出の際に、本文と図表は電子データ（CD-ROM に保存した Word ファイル、Excel ファイル、JPEG ファイル等）を提出して下さい。また、全ての図表は、刷上がりの約 2 倍の大きさのものを別途ご提出いただきます。

2．表 題

論文・速報論文の内容を的確に表す和文表題を、40 字以内の理解しやすい表現で付けて下さい。第 1 報、第 2 報などを用いる場合には、内容を表す副題を、22 字以内で必ず付けて下さい。また、それらに対応した英文表題を必ず付けて下さい。第 1 報、第 2 報などの英文はそれぞれ Part 1、Part 2 などとして下さい。表題では、化学式や省略形（略語）は用いないで下さい。

3．論文概要（Abstract）

論文・速報論文には 150～200Words の概要（英文）を付けて下さい。概要では本文中の図表や文献などを引用することはできません。化学式や省略形（略語）は初出の箇所で正式名称またはフルスペリングを、量記号は初出の箇所でその説明を併記して下さい。

4．キーワード（Key Words）

論文・速報論文には 5～10 語の英語によるキーワードを付けて下さい。キーワードは、固有名詞、省略形（略語）を除き小文字で表記して下さい。

4.1 選 定

具体的な意味をもつ名詞形で、文部科学省制定の「学術用語集」や本会編の「トライボロジー辞典」等を参考にして、できるだけ狭義の意味をもつ語句を選んで下さい。この場合、省略形（略語）はその専門分野で広く通用しているものに限り、また、元素名、化合物名、合金名、量記号等は正式名称またはフルスペリングで記載して下さい。

4.2 記載箇所

「論文原稿の見本」および「トライボロジスト投稿論文用テンプレートの使い方」に従って、第1ページ目脚注の最終行に記載して下さい。

5. 本 文

5.1 区分けと見出し

本文の区分けは、章、節、項をそれぞれ 1., 2., 3., ..., 1.1, 1.2, ..., 1.1.1, 1.1.2, ... のように半角数字で表示して下さい。

5.2 用字と用語

本文は必ず日本語で書いて下さい。文体は簡潔な口語体とし、特に欧文またはカタカナ書きを必要とする部分以外は、漢字まじりひらがな書きとして下さい。また漢字は常用漢字を、かなは現代かな遣いを使用して下さい。句点（.）、読点（,）、かっこ、ハイフンなども1文字と数えます。段落の始めは1文字あけて下さい。

用語は文部科学省制定の「学術用語集」に準拠することを原則としますが、本会編の「トライボロジー辞典」等も参考にして下さい。これらの用語集に記載されていない用語については JIS などに準拠して下さい。外国語の人名、固有名詞などは原語のつづりで書くことを原則とします。ただし周知のものはカタカナ書きでもかまいません。固有名詞を除いては外国語のつづりを文中に混用することはなるべく避けて下さい。

また、一般的でない略語は、初出の箇所で正式名称またはフルスペリングを併記して下さい。

5.3 商品名および会社名の使用禁止

商品名および会社名はその機器、材料、試験結果を正確に記述するのに必要である場合を除いて使用できません。

注) 使用可能な例 チムケン(Timken)OK 荷重 ファレックス試験機

5.4 字 体

基本的には「論文原稿の見本」および「トライボロジスト投稿論文用テンプレートの使い方」に従って下さい。また、数式や図表を含めてフォントを統一して下さい。数字やアルファベット、ギリシア文字の表記には半角文字を使用して下さい。アルファベット c, k, o, p, s, v, w, x, y, z の大文字と小文字、また γ と r, ω と w, κ と k などのギリシア文字とアルファベットは、はっきりと区別して書いて下さい。カタカナを印字する場合に半角文字は使用しないで下さい。

なお、本会が印刷版下を作成する場合、特に必要な場合に限り著者は字体を指定することができます。

5.5 単位、記号など

単位は国際単位系（SI）を使用して下さい。単位記号および量記号の表記は JIS Z 8202 を参照して下さい。例えば、単位記号は μm , GPa, Pa·s のように立体的、量記号は h , p , η のように斜体の半角文字で表記して下さい。

6. 数 式

変数名や記号などは本文の文字と同じ大きさの半角文字で表記して下さい。

数式は片方の段の左右中央に書き入れて下さい。必要と思われる行数は必ず使用し、左右に詰めて書くことは避けて下さい。数式に付ける番号は通し番号とし、行末に半角数字でかっこに入れて書いて下さい。本文中で数式を呼称する場合には式(1)、式(2)のようにして下さい。

説明のために本文中に数式を入れる場合には、 $(a-b)/(c+d)$ 、 $y=\exp(t/r)$ のようになるべく 1 行に収まる記法を用いて下さい(式番号の付いた式は除きます)。

7. 図と表

図(写真も含む)および表に記載する用語は英語に統一し、最初の文字のみを大文字として、単位、量記号等も含め、半角文字で表記して下さい。図(写真も含む)および表は、最上段もしくは最下段にまとめて配置し、その説明文は、なるべく同じページに記載して下さい。

図面は、原則として JIS Z 8310(製図総則)によって作図して下さい。他の著作物を参考にする場合は「著作権についての本会の方針」を参照して下さい。

本会が印刷版下を作成する場合であっても、すべての図表は原則として著者が作成したものをそのまま写真製版により印刷しますので、線の太さ、文字の大きさなどに注意して黒色で作成して下さい。文字、数字、記号などはレタリングガイドを使用するか、ワープロなどで印字したものを貼り込んで下さい。

7.1 図番、表番

図(写真も含む)および表には、番号(図番、表番)を付けて下さい。図番、表番はそれぞれ通し番号を用い、Fig. 1, Fig. 2 ..., Table 1, Table 2 ...のように表記して下さい。

図番と図名は図の下部に、表番と表名は表の上部に記載して下さい。

7.2 図名、表名

図(写真も含む)および表には、その内容を的確に表わす英文題目(図名、表名)を付けて下さい。図名、表名は、英文の最初の文字のみを大文字とし、半角文字で表記して下さい。

7.3 縦軸、横軸の説明

グラフの縦軸、横軸の説明は、それぞれの軸に沿って横書きとし、コンマで区切って単位をその後に続けて下さい。縦軸、横軸の説明は英文の最初の文字のみを大文字とします。

例) Specific wear rate $K_s \times 10^{-14} \text{ m}^2/\text{kg}$

7.4 図(写真を含む)、表の大きさ

図(写真を含む)および表は、「論文原稿の見本」および「トライボロジスト投稿論文用テンプレートの使い方」に従って原稿に貼り込んで下さい。原稿用紙上で横の寸法が 80 mm(刷上りの大きさが 70 mm)を標準とします。写真には比較尺度(スケール)を必要に応じて付けて下さい。

著者が印刷版下を作成する場合、図表中の文字の大きさは、原稿用紙上で 9 ポイント以上として下さい。図表ごとに文字の大きさが極端に異ならないようにご注意下さい。

本会が印刷版下を作成する場合に別途提出いただく図(写真を含む)および表の大きさは、刷上りの約 2 倍(面積で 4 倍)とし、55 %に縮小したときに横の寸法が 70 mm 以下の大きさになるように作成して下さい。70 mm を越えるものは「両段使用」と判断します。その図中の文字の大きさは 14 ポイント程度として下さい。写真は製版可能な鮮明なものを各 1 葉提出して下さい。なお、提出された写真は返却できませんのであらかじめご了承下さい。

7.5 本文中での呼称

本文中で図を呼称する場合には、文頭に限り Figure 1, それ以外は Fig. 1 のようにして下さい。本文中で表を呼称する場合には、Table 1 のようにして下さい。

8. 文 献

参考とする文献は、本文中では上付きの添字を用いて 1) または 2,3,5~7) のように示し、本文の末尾に列挙して下さい。文献の番号は各参考文献につき一つの番号を割り当て、同一論文内では通し番号にして下さい。なお、図表の引用については、その図表の表題下にその都度出典を明記して下さい(例〔出典：文献 5)〕)。また、文章をそのまま紹介する場合は、その引用が識別できるようにかっこまたは異なる字体で区別して下さい。

一般に公表されていないものは参考文献として挙げられません。また、投稿予定および投稿中で未公表の論文を参考にする場合は、前報の掲載を前提として作成された続報の論文・速報論文での引用を除き、原則としてできません。インターネットの URL も参考文献としては挙げられません。国内会議の予稿集や国際会議のプロシーディングス等の正規の査読・校閲を経ていない記事は、同様の研究成果を含む査読付き学術論文が公表されていないなどの場合を除き、できる限り参考文献として挙げないようにして下さい。

文献の書き方は次の形式によって下さい。ただし、和文文献の著者名は、姓名または姓のみのいずれでも構いません。

8.1 雑誌（和文）の場合

番号) 著者名：タイトル，雑誌名，巻，号（発行年） ページ。

- 1) 堀・木村・田中：すべり軸受の潤滑特性，ジュンカツ，2，1 (1970) 16。

8.2 雑誌（英文）の場合

番号) 著者名：タイトル，雑誌名，巻，号（発行年） ページ。

- 2) A. B. Collin, C. Reynold & D. E. Fake: In Situ Studies of Wear Process, ASME J. Tribology, 120, 3 (1995) 513.

8.3 書籍（和文）の場合

番号) 著者名：書名，発行所（発行年） ページ。

- 3) 会田・今井：トライボロジーにおける実験計画法 第2版，摺永社 (1950) 703。

8.4 書籍（英文）の場合

番号) 著者名：タイトル，書名，編者，発行所（発行年） ページ。

- 4) D. Tabor: Friction as a Dissipative Process, Fundamentals of Friction: Macroscopic and Microscopic Processes, ed. I. L. Singer & H. M. Pollock, Academic Publishers (1992) 3.

8.5 Proceedings の場合

番号) 著者名：タイトル，会議の名称，場所，時期，巻（発行年） ページ。

- 5) M. Akita: Investigation of the Degradation of Solid Lubricants Exposed to Atomic Oxygen, Proc. Int. Trib. Conf., Yokohama 1995, 1 (1996) 235.

8.6 特許の場合

番号) 発明者姓名：特許番号など（発行年）。

- 6) 高橋一二三：潤滑機構，特開平 6-12345678 (1994)。
7) A. C. Smith: Lubrication Mechanism, U.S. Patent 9876543 (1990).

8.7 カタログ等の場合

番号) カタログ名・カタログ番号，社名（発行年）。

- 8) トライボ工業カタログ・045-94951，トライボ工業 (1994)。

8.8 規格の場合

番号) 規格番号 (発行年) .

9) 日本工業規格 JIS B 2405 (1993) .

10) NASA SP-8048 (1971).

8.9 雑誌名の記述例

トライボロジスト , 機論 , 精密工学会誌 , 日本化学会誌 , 表面 , 潤滑

Appl. Phys. Lett. , ASME J. Tribology , Bull. JSME , IEEE Trans. Magn.

J. Appl. Phys. , J. Chem. Phys. , J. Eng. Tribology , J. Fluid Mech. , J. Mater. Sci.

J. Phys. Chem. , Jpn. J. Appl. Phys. , Nature , Philos. Mag. , Phys. Fluids

Phys. Rev. Lett. , SAE Paper , Science , Solid State Phys. , STLE Tribology Trans.

Surf. Sci. , Thin Solid Films , Tribology Int. , Wear

9 . 版下用原稿用紙の購入

会誌「トライボロジスト」用の原稿用紙は、A4 サイズの白紙、または本会規定の「版下用原稿用紙」を用いて下さい。版下用原稿用紙は 1 部 200 円 (送料別) で学会事務局で購入できます。版下用原稿用紙には原稿表紙と「論文原稿の見本」が添付されています。

版下用原稿用紙の請求は、適当な用紙に、「版下用原稿用紙の請求」と題記し、氏名、所属先名称、部課(科)名、所在地、電話番号、FAX 番号、郵送先住所 (自宅などに郵送をご希望の場合)、必要部数などを記入し、本会事務局宛にご請求下さい。
